

令和3年度

恵那北小学校だより

1月20日号



# げんきたっ子

2022年も笑顔と感謝の気持ちを忘れずに 伊地知みゆき

明けましておめでとうございます



体育館横のゆずの木に  
綺麗な実がなりました

令和3年度3学期がスタートしました。始業式に子どもたちに「2022年は2が3つ『にこにこにこ』の笑顔いっぱいのにしましょう」「令和3年度3学期は『サンキューありがとう』と感謝溢れる学校にしましょう」と話しました。少々強引な語呂合わせに子どもたちは笑って聞いてくれましたが、気持ちは伝わったかと思います。

コロナ感染症との日々も3年目を迎えようとしています。まだまだ予断を許さない状況です。マスク生活が日常となり、笑顔は目元しか見れません。表情がわからない＝気持ちが読み取れないことも多々あります。「にこにこ」の笑顔を「にこにこにこ」の笑顔

にする。「ありがとう」を繰り返し、感謝の気持ちを伝える。ソーシャルディスタンスやリモートを強いられる今、いかに他者との関係を築いていくか、プラスのひと工夫が必要です。

学校では、話し方の学習を続けています。授業中「わかりました」だけから「賛成です。なぜか」というと、、、と自分の立場と考えを明確にして話せる子が増えています。

さらに「～ですね。〇さんはどう思いますか。」と相手の意見を求めて自らの考えを明確にしていく子供たちもいます。

感染予防に努めながら、直接的なコミュニケーション能力をどうつけていくか。良好な人間関係を築く力をどうつけていくか。ICT を活用しながら、自分の思いを上手に伝える力、言葉を選ぶ力、自分で考える力をつけることが大切だと考えます。

## 児童会主催 「にこにこ言葉の木」 キャンペーン



## 雪の日に思う

1年ぶりに積雪が見られ、校庭も真っ白になった日。いつも以上に子どもたちの歓声が響き渡りました。3学期が始まってすぐの空からのプレゼント。いつもは背中を丸めて縮こまって歩いている子ども顔を真っ赤にして雪玉を投げたり、雪だるまを転がしたり。どの子どももよい表情でした。随分な運動量だったことと思います。子どもたちが自ら動き出す、嬉々として取り組む姿の大切さを改めて感じました。今年もそのような学校環境を作れるように努めてまいります。



